

# 領域 5 インフォーマルミーティング議事録

日時：2025.09.16, 17:30-18:30

場所：広島大学 SK205

出席者：領域代表・副代表・運営委員を含む 23 名

配布資料：スライドを画面共有した。

<b>1. 審議・確認事項</b>	<b>2</b>
1-1. (審議) 運営委員の紹介	2
1-2. 領域活性化について	2
1-3. 領域委員会からの報告	4
<b>2. 案内</b>	<b>5</b>
2-1. 2026 年春季大会スケジュールについて	5
<b>3. その他</b>	<b>5</b>
3-1. 領域の活性化を目的とした交流会	5

# 1. 審議・確認事項

## 1-1. 運営委員の紹介

- 今期代表・副代表・運営委員の紹介が行われた。
- 次期代表・副代表・運営委員の紹介が行われた。
- 次期代表および次期副代表より挨拶があった。
- 次々期（2026.4～）の運営委員について下記の3名の紹介があり、物理学会に推薦することが承認された。
  - 大坪 嘉之（QST）
  - 栗原 貴之（東京大）
  - 玉谷 知裕（東京大）

## 1-2. 領域活性化について

- 運営委員(山崎先生、NIMS)から説明があった。
  - 発表件数について
    - 直近3年ではオンサイトは横ばいであるが、オンラインでは減少傾向が顕著。
    - 今回ポスター発表の比率は望まし範囲(30~35%)を超えた。
    - 上述の傾向は、他領域でもおおむね同じ。
  - 領域5のキーワードについて
    - 26年3月の学会に向けて10/3までにキーワード登録の必要あり。
    - 今回含めて4期分をまとめて一度も使われていないキーワードは削除することが承認された。
    - 第3キーワードに「原子層・層状物質」を追加することが承認された。
    - 講演者をふやすためにも新しいキーワードも適宜入れるべき。
    - 1年に一度見直しか、半年に一度見直しか？（運営委員で決定。）

- 第1,第2 キーワードにもその他を入れるべき、との意見があった。
- 学生優秀発表賞について
  - 審査員(今回は計 38 人)を探すのが大変なので、ルール変更の案を提案した。
  - 審査員対象外とする条件にあそびをつけることで運営委員の負担を緩和する。
  - “当該ポスターの共著者は除く。”を新たに加える。
  - 審査員を探すのが大変なので審査員を減らす(5人から3人など)。
  - それぞれの審査員は5人を審査する(ちょっとタイトだけど)。
  - “引継ぎ資料”によると審査員は“5名程度”。
  - 発表時に”10分で発表できるようにしておくように”と伝えておく
  - 審査員は名札にシールを付ける?(オンラインはできない)。
  - オンラインはポスター少ないので、次のオンサイトから審査員に事前に連絡する。
  - 学生が10分x5人だと50分束縛されるので、審査員を減らすべき。
  - 結局議論は収束しなかったが、学生一人当たりの審査員の数は減らすべきであり、可能であれば、審査員一人あたりの学生も減らす方向へ。

### 1-3. 領域委員会からの報告

- 領域代表(渡辺先生、慶応大)から報告があった。
  - 80周年記念国際シンポジウム開催のお知らせ
    - 大会担当理事が本シンポジウムと関連したサテライトシンポを企画したあと、それらと被らないように領域のシンポを企画する必要がある。
  - 領域の在り方と現状の課題について

- 本部が領域の在り方について意見を求めているので、現状の課題を本部に提出する。
  - プログラム編集のための期間として2週間を本部に要求。
  - 領域5ではまだ次期運営委員を探すことはできる（今後の不安なのは事実）。
  - 4半世紀前は「領域5」ではなく、「イオン結晶・光物性」。領域を混ぜて活性化させるために領域スタイルに変更したという経緯があったことを共有した。
  - 今後新しい領域わけのとき、仮に物質で領域を区切ることになれば領域5は散り散りになってしまう。そうならないように手法として領域5を残すべきという意見で一致した。
- 年次大会 概要集提出率について
    - 領域5は高い提出率を保っている。問題なし。

## 2. 案内

- 2026年春季大会スケジュールについて
  - 運営委員の負担をへらすため、シンポジウム、招待講演があれば出せばいい。
  - とは言え領域を盛り上げるために是非考えてほしい。
  - インフォーマルミーティングの申請（12/16~1/20）。
  - 領域5のホームページにシンポの提案のためのルールを公開すべき（encourageにもなる）。（高三先生に整理を依頼）。

### 3. その他

- 領域をもりあげるため、また次期運営委員を探しやすくするため、インフォーマルミーティングにもっと大勢に参加してほしい。
- 領域飲みを行う。